

2022 年度船舶基準セミナー
～IMO における安全関係諸基準の策定状況（自動運航船及びその他安全関係）
& 第二世代非損傷時復原性基準の解説～
実施内容

2023 年 3 月
一般財団法人 日本船舶技術研究協会
基準・規格グループ 基準ユニット

当協会では日本財団のご支援をいただき、関係者のご協力のもと、国際海事機関（IMO）における船舶の国際基準策定に積極的に取り組んでおります。

船舶の安全性に係わる IMO の審議動向として、「自動運航船」及び「第二世代非損傷時復原性基準」についてご紹介・解説するとともに IMO における安全諸基準の最近の審議動向として、2026 年に発効が予定される安全関係の条約改正や現在審議中のもの、並びに今後審議が予定される事項についても紹介するため、題記のセミナーを開催いたしました。

開催内容の概要は、次のとおりです。

1. 日時及び場所

日 時：2023 年 3 月 9 日（木） 13 時 00 分～16 時 30 分

場 所：WEB 開催

参加者：約 130 名

2. 各講演の概要等

主催者挨拶 当会 会長 田 中 誠 一



<第一部：IMOにおける自動運航船関係の審議動向>

国土交通省 海事局 安全政策課

船舶安全基準室長 鈴木長之様



IMOにおける安全諸基準の最近の審議動向(2026年発効の条約改正、現在審議中の改正、今後審議予定の改正)
一般財団法人日本船舶技術研究協会

主任研究員 江黒広訓



<第二部：第二世代非損傷時復原性基準の策定について>

第二世代非損傷時復原性基準の概要

国立大学法人 大阪大学 大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 船舶海洋工学部門
教授 梅田直哉様



5つの危険モード（復原力喪失、パラメトリック横揺れ、フローチング、デッドシップ状態及び過大加速度）
の解説

国立大学法人 大阪大学 大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 船舶海洋工学部門
教授 梅田直哉様

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所流体性能評価系 耐航性能研究グループ
上席研究員 黒田貴子様



以上